

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
ワークショップⅠ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	深水みゆき			実務経験	有	職種	俳優 ヴォイストレーナー				
担当教員紹介											
『劇団四季』出身。退団後フリーの役者として多数の舞台に出演。現在は、後進の指導と共にコンサート活動も行っている。 プロ・フィット声優養成所、劇団鳥獣戯画 講師。											
授業概要											
・声の出る仕組みを理解し、「俳優に必要な技術」の三大基礎（発声・発音・活舌）を訓練する。 ・「継続は力」を実践し、身体で感じ学ぶ。 ・俳優として「言葉」とは何かを考え、他者に「言葉」を使って意思や気持ちを伝える「喋り」を追求する。											
到達目標											
・聞きやすい声・喋りを身につける。 ・繰り返し練習することの大切さを実感する。 ・「言葉」を調べ理解し、文章を丁寧に読む習慣を身につける。											
授業方法											
・ストレッチ・腹式呼吸・口形・舌の筋トレ等を知識として身につけるのではなく、身体で習得できるよう、毎回繰り返し練習する。 ・テキストを使い、かつぜつ・無声化・鼻濁・長音・促音・連母音などの基礎を練習する。											
成績評価方法											
試験・課題 60％ 課題、発表の成果で判断する。 平常点 40％ 授業への参加態度、課題への散る組み方などから総合的に判断する。											
履修上の注意											
・声のトレーニングであるヴォイトレ。毎週の授業だけではなく毎日の積み重ねが大切だと理解し、日常でも「お腹の声」を意識して話す、などの工夫を希望します。 ・コロナ禍での授業なので、マスク・フェイスシールドの着用をお願いします。											
教科書教材											
適宜、配布。											
回数	授業計画										
第1回	ストレッチ10分間で自己紹介発声＝腹式呼吸（理論と実践）										
第2回	口ストレッチ・腹式呼吸の練習 プラス発音＝口形(理論と実践)口										
第3回	上記の基礎練習 プラス唇舌（理論と実践）										
第4回	上記までの基礎練習 プラス無声化・鼻濁の練習（テキスト使用）										
第5回	上記までの基礎練習 プラス震音・連母音・促音の練習（テキスト使用）										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
ワークショップⅠ	
第6回	上記までの基礎練習 プラス 日本語の子音と母音について（ア行からナ行）
第7回	上記までの基礎練習 プラス 日本語の子音と母音に」について（ハ行からワ行）
第8回	上記までの基礎練習 プラス その成果を生かして、「五十音」を朗読してみる。
第9回	上記までの基礎練習 プラス 動詞・名詞の意味を表現レベルで考え、「五十音」を朗読してみる。
第10回	上記までの基礎練習 プラス 発想を広げながら「五十音」を表現してみる。
第11回	上記の基礎練習 プラス 1つの詩として構成を考え「五十音」を創造する。
第12回	上記の基礎練習 プラス 「五十音」を思い切り表現する。
第13回	課題発表 「五十音」